

## お知らせ

記者発表資料	平成24年10月11日
配布日	

資料提供先：岡山県政記者会

### ～旭川における河川水の変色について(第一報)～

#### 状 況

平成24年10月5日(金)13時頃に報道機関から「月見橋の下流の旭川がコーヒー色に濁っている」と連絡を頂きました。現地を調査したところ、後樂園側の深みの箇所では河川水が変色している状況を確認していましたが、10月6日(土)に同様の現象が確認された際に採水した河川水の分析結果が出ましたのでお知らせします。

分析の速報値として、植物プランクトンの一種であるクリプトモナス属を確認しました。

#### 経 緯

- ・平成24年10月5日(金)

旭川の月見橋周辺において、河川水が変色しているのを住民が発見、岡山河川事務所が現地を調査し赤茶色の変色を確認しました。

- ・平成24年10月6日(土)

再度、現地を確認し、同様の現象が確認された為、桜橋から新鶴見橋の5地点について、河川水を採取し、水質分析を実施しています。

- ・平成24年10月9日(火)

河川水に特段の異常は確認できませんでした。

- ・平成24年10月10日(水)

河川水に特段の異常は確認できませんでした。

- ・平成24年10月11日(木)

河川水に特段の異常は確認できませんでした。

別紙 旭川 現地調査及び採水箇所(桜橋周辺から新鶴見橋周辺)

別紙 旭川 臨時水質調査の速報結果(10月6日(土)採水分)

#### 今後の対応

今回、魚の斃死等の異常は確認されませんでした。引き続き、岡山河川事務所において河川巡視の際にこれまで以上に河川水の変色に注意を払い、必要に応じて水質調査を実施します。

#### <問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

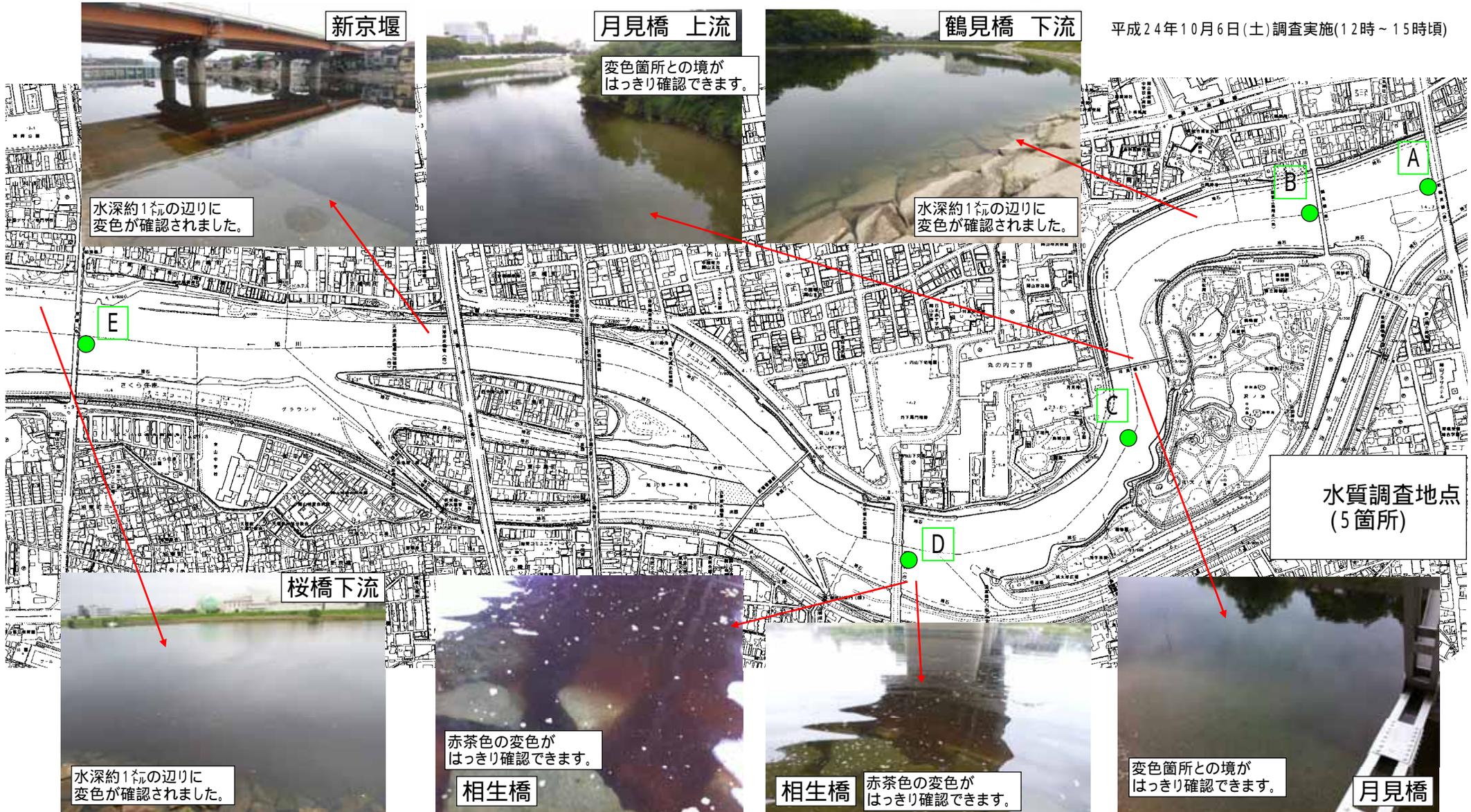
TEL 086-223-5196

【担当】 副所長(技術) うえだ 植田 けんじ 憲治(内線205)

防災情報課長 あきた 沖田 ひろゆき 宏之(内線281)

# 旭川 現地調査及び採水箇所(桜橋周辺から新鶴見橋周辺)

平成24年10月6日(土)調査実施(12時~15時頃)



# 別紙

## 旭川 臨時水質調査の速報結果(10月6日(土)採水分)

生活環境項目	単位	E地点	D地点	C地点	B地点	A地点	参考
		採水順番	採水順番	採水順番	採水順番	採水順番	
		桜橋	相生橋	月見橋 下流	鶴見橋	新鶴見橋	
pH(水素イオン濃度)	-	8.5	7.6	8.0	7.8	7.8	環境基準(類型B)は、6.5～8.5
COD(科学的酸素要求量)	mg/L	4.9	2.7	4.6	3.6	1.9	桜橋と相生橋の平均(H24)は、2.7
SS(浮遊物質)	mg/L	6	5	6	5	1	環境基準(類型B)は、25以下
DO(溶存酸素)	mg/L	12	3.2	7.3	5.2	9.3	環境基準(類型B)は、5以上
大腸菌群数	MPN/100mL	17000	2800	1100	7000	3500	環境基準(類型B)は、5,000以下
総窒素	mg/L	0.41	0.37	0.46	0.42	0.37	桜橋と相生橋の平均(H24)は、0.79
総リン	mg/L	0.065	0.089	0.075	0.069	0.019	桜橋と相生橋の平均(H24)は、0.03
全亜鉛	mg/L	0.004	0.003	0.003	0.003	0.001未満	桜橋の平均(H24)は、0.005
塩化物イオン	mg/L	7600	14000	9900	7600	13	一般的な海水は、19,000以上
クロロフィルa	μg/L	30	6.9	22	14	0.1未満	桜橋の平均(H24)は、6.23
植物プランクトン(クリプトモナス)	cell/ml	1,000	-	1,300	-	-	旭川大橋(H24)の測定値は、1～320

「E」、「C」、「B」地点については、クロロフィルaの数値が高くなっているのは、一般的に植物プランクトンの影響を強く受けている為と思われます。

「E」、「C」地点については、植物プランクトンの「クリプトモナス」の数値が通常より高くなっています。

μg/L = mg/m<sup>3</sup>

植物プランクトン調査の速報値は、概数値です。正確な分析結果については、2～3週間程度を要します。

参考欄に記載している(H24)とは、平成24年1月分～平成24年9月分までの水質分析結果です。